

中学2年 数学

一次関数 ～一次関数の利用～

学校教育目標

「人間力」の育成

- 学力・体力
- 自他を大切にする力
- 将来を展望する力
- 社会に貢献する力

単元の流れ

単元のポイント

本単元では、具体的な事象における二つの数量の変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解し、関数関係を見出し考察することを学習する。その上で、一次関数を用いて具体的な事象を捉え、目的に応じて表、式、グラフを適切に選択し、説明することで、関数を活用する力や根拠を明らかにして説明する力を育成する。



第1節 【知識の習得（意味の理解）】

事象から関数関係を見出し表現し、考察するために必要な、一次関数の意味や変化の割合の意味、一次関数の表、式、グラフとそれらの相互関係について理解する。



第2節 【活用（意味を広げる）】

二元一次方程式について、二つの変数 x と y の関数関係を表す式とみることにより、方程式と関数を統合的に理解する。



第3節 【活用（意味を深める）】

一次関数を用いて具体的な事象を捉え説明する。また、具体的な事象を一次関数とみなすことによって、未知の状況を予測できるようにする。

指導項目

- C 関数（1）
エ 一次関数を用いて具体的な事象を捉え説明すること。

評価について

毎時間の「振り返りで出させたい言葉」を具体的に考え、本時で付けたい力、本時のポイントを明らかにし、単元指導計画に明記した。ノートやワークシート等で、生徒の振り返りを確認し、生徒の学びの状況や付けたい力についての評価や、授業の評価を行う。

目指す生徒の姿

関数の考えを見通しを持ったり、予測したりすることに活用しようとする。表・式・グラフを用いて論理的に相手に分かるように説明する。

- 一次関数の意味等を理解させるとともに、一次関数が日常のどのような場面に生かせるのか、今後の学習につながるのか等を振り返る場面を確保する。（将来を展望する力）
- 数学的な表現を用いて、お互いに説明し合ったり、考えを練り上げたりする対話の時間を確保する。その中で、相手の意見を受け入れる姿勢を大切にする。（自他を大切にできる力）